

Press Release

2018年 6 月 21日

日本公認会計士協会

第10回「公認会計士の日」大賞受賞者について

賞の概要

日本公認会計士協会では、7月6日を「公認会計士の日」と定めており、これにちなみ、平成21年に「公認会計士の日」大賞を表彰制度として創設しました。

本賞は、会計、監査等に対する社会的関心の向上に貢献した者、公認会計士制度の普及に貢献した者、公認会計士の社会的地位及び知名度の向上に貢献した者に対し、その功績が顕著な者を表彰する制度です。

第10回「公認会計士の日」大賞の選定に当たっては、公認会計士としての視点のみならず、広い視野に基づく多面的な選定を行うため、外部有識者を加えた選定委員会において行いました。

第10回受賞者

大 賞（1名）：辻山 栄子会員（早稲田大学名誉教授、公認会計士）

【選定理由】

辻山栄子会員は、昭和49年4月、公認会計士開業登録、監査法人勤務を経て、昭和52年から茨城大学、武蔵大学、早稲田大学と教育の分野で、主に会計学の教授として約40年間活躍された。辻山会員は、本会が全国の主要大学・高校で公認会計士の後進育成活動の一環として行う新入生対象の公認会計士制度説明会では、平成21年から利用している制度説明会用DVDにご出演いただき、特に女性の学生に向けて「公認会計士の資格は女性に向けた魅力ある職業である」という熱いメッセージを伝えていただいております。平成21年以降の女性の公認会計士試験合格率はほぼ20%の水準を保つなど、後進育成活動にご尽力いただいた。

長年にわたり、企業会計審議会委員、国税審議会委員、企業会計基準委員会（ASBJ）委員など、財務会計に関する政府や機関の審議委員を数多く歴任され、特に、AS

BJ委員として国際財務報告基準（IFRS）の日本への導入に際しては幅広い立場から意見を発信するなど、会計の分野の発展と制度設計にも多大なる貢献をされた。また、数多くの上場会社の社外監査役としても長く活躍されている。

特別賞（1件）：愛知県清須市立桃栄小学校

【選定理由】

愛知県清須市立桃栄小学校は、本会が広報活動の一環として行っている若年層向け会計教育授業（「ハロー！会計」）にご理解・ご協力をいただき、平成20年から昨年まで述べ9回にわたり、ほぼ毎年継続して訪問授業を開催させていただいた。

こうした学校側の会計授業への取組みは、本会が行う会計基礎教育の一環に大きく貢献するものである。

選定委員会委員

「公認会計士の日」大賞選定委員会委員（敬称略）

委員長 釜 和 明（公益財団法人財務会計基準機構 理事長）

委員 伊豫田 隆 俊（甲南大学 教授）

委員 佐 藤 淑 子（日本IR協議会 専務理事）

委員 高 濱 滋（日本公認会計士協会 副会長）

委員 林 敬 子（日本公認会計士協会 常務理事）

以 上